



福井しあわせ元気国体2018 福井しあわせ元気大会2018

第73回 国民体育大会 / 第18回 全国障害者スポーツ大会 織りなそう 力と技と美しさ



福井県で昭和43年に開催されてから50年ぶり、2巡目の開催となる国体が開催された。大会の愛称「福井しあわせ元気国体」は幸福度日本一といわれる福井県で県民の元気と創意を結集し、幸せを感じ、元気があふれる国体を創り上げるということ、県民みんなで全国からの参加者を温もりの心でもてなし、交流を通じてしあわせと元気を全国に発信するということが込められている。

スポーツの祭典

開

幕

平成最後の国体である福井国体の総合開会式が9月29日に福井県営陸上競技場である9・98スタジアムで行われた。

開会式では、今回のスローガンである「織りなそう力と技と美しさ」のように、美しく迫力ある福井県の郷土芸能や県内各地で活動する団体が披露され、激しい雨の中、会場を盛り上げた。あいにくの天候の中とは思えないほど綺麗な踊りを織りなす三國奏「帯のまち流し」。これは文化プログラムの一つで250年の伝統ある三國節を三味線、笛の伴奏で昔ながらの風情ある湊町を各地区か



歓迎県民イベントの様子

ら踊り流すものだ。他にも小浜市の「放生祭」の踊りや越前町の和太鼓「OTAIKO響」がおもてなしの心で全国から訪れた来場者や選手を歓迎した。「OTAIKO響」は「恐竜行進曲」を披露し、太太鼓「明神」の低い響き、太鼓が叩かれると同時にみえる水しぶき、素晴らしい一体感は会場を魅了した。

茨城県選手団

発

進



茨城県選手団

総合開会式の前に競技力向上対策本部主催の「激励のつどい」が行われた。

大井川県知事や県議会議員の方々より激励の言葉を頂いた。団長の大井川県知事は「堂々と茨城県民の誇りを持って、チーム一丸となり、力を出し切って頑張りましょう」と選手の背中を押した。また、剣道少年女子の柿元選手

による勝関をあげたり、最後に「頑張るぞ」と言いながらこれから始まる福井国体へ期待を寄せた記念撮影を行ったりと、その場にいる人の思いが重なったような盛り上がりを見せた。来年の茨城国体が楽しみだ。

県内は国体

一

色

福井県内では、各地が9月29日から始まる福井国体一色に染まっている。

福井県からすぐ近くにある、福井市にぎわい交流施設ハピリンでは、屋外のハピリントラスで「はびつまつり 福井の食と文化」でおもてなし大作戦

が行われている。その名の通り福井市グルメブースでは、地元料理や国体記念ランチパックなど地場産農産物・海産物、加工品即売を行っている。また、福井を代表する「おろしそば」や「ソースカッ井」を召し上がることでもでき、十分に福井県の魅力を感じることができ。そしてウェルカムステージではクイズ大会の開催や福井国体のマスコットキャラクター「はびり



ウェルカムステージの様子

ゆう」や「ふくいたべまるちゃん」に会うことができる。県内各地で盛り上げたいく国体の姿が見られた。